

生活環境保全林(里山)上笹古墳

まほろばの森

まほろばの森は、たつの市新宮町上笹の香島地域県民交流広場の活動拠点、上笹1区自治会館の背後の森林を整備された生活環境保全林(、98hA)です。展望あずま屋、憩いの広場、散策歩道(A. B. C.コース 9461M)等があます。谷川沿いには10基の横穴式古墳があります。美しい、里山の四季の自然が楽しめます。皆様のお越しを、お待ちしております。

アクセス 国道179号新宮三叉路を北に4キロ 赤い香島橋を東に渡り直進してつきあたりの山がまほろばの森です。(自治会館前が駐車場です)

まほろばの森のホームページ URL <http://www13.ocn.ne.jp/~sasasato/>



宍粟50名山の南山へ登られる方へ

まほろばの森から南山への登山ルートは次の方法があります

自治会館—40分-----展望あずまや—10分-----

展望の丘---あせびの道管理道路へ進行します(通行禁止の看板がありますが自己責任で登ってください)----- (宍粟市

方面が見えます)-----谷越え2箇所-----40分-----

南山頂上 (ピークの山を回りますと看板があります)

下山はそのまま東の管理道路を下るといこいの広場へ下山できます(30分)休憩小屋とトイレがありますのでご利用ください

林道を下ると途中に上笹古墳が見られますのでご覧ください

お願い

入山と下山の際には獣よけの扉をかならず閉めてください。

山火事防止のため火の元に、ご注意をお願いします。

ごみなどは、各自持ち帰るようお願いします。

上笹古墳群はつばの林 (上笹生活環境保全林 98ha)

平成4年頃から大発生した松くい虫の被害により上笹周辺の山の松はほとんどが枯れてしまいました。これを契機として、荒廃した森林の整備(手入れ)を進めながら、歩道や休憩施設をつくり、併せて治山ダムを設置することにより、住民の良好な生活環境を創出する治山事業を、平成7～13年度にかけて実施しました。

■上笹古墳群

林道沿いに10基程の古墳が分布しており、石室の様子を間近に見学できます。

■地名の由来

播磨国風土記によれば、応神天皇の地方巡行の際、猿が笹の葉を噛んでいたことにちなみ笹山と呼ばれるようになりました。実際に林内には笹が多く茂っています。

- ①展望ハイキングコース  印 (9)
- ②植物観察コース  印 (6)
- ③散策コース  印 (2)



	治山ダム	
	砂防ダム	
	古墳	
	道路・林道	
	遊歩道	
	管理歩道(関係者)	

※里山林は、燃料となる薪や、肥料とな
古くから人々に利用されてきた林のこ
を利用しなくなったために林がやぶにな
っているため、治山事業による森林整備に
の姿を再現しました。

四季の見どころ

春 町花であるヤマツツジを始め、ヤマザクラやマルバアオダモの花が咲き競います。



夏 木陰で散策をお楽しみください。どんぐりの森ではクワガタムシも見つかります。



秋 オレンジ色や黄色に輝く紅葉の美しさ。どんぐり拾いで遊びましょう。



冬 日当たりの良い歩道を展望あずまやまで登れば、新宮町の町並みや瀬戸内海が望めます。



【お知らせ】

事業主体：兵庫県